

戸 鴛

UDO JINGU

謹
賀
新
年

最後の別当・
観空法印

vol. 93

紀元 2682年

令和4年 1.1

疫病収束祈願奉納花火
(令和4年1月1日イメージ 午前零時～零時半)

最後の別当・ 観空法印

鵜戸神宮宮司 黒岩 昭彦

鵜

戸神宮は江戸時代まで、神仏習合の「鵜戸山大権

現仁王護国寺」（以下「鵜戸山大権現」とする）として栄えてきたことは周知の通りです。その昔を顧みれば、荒廃してゐた鵜戸山の僧坊を再興したといふ初代別当の光喜坊快久こうきぼうかいきゆうからはじまり、第五十九世観空を以てその長い歴史に幕を下ろしました。

いふまでもなく明治新政府の神仏分離政策に依り、「鵜戸山大権現」から「鵜戸神社」（当時）となつたからです。以後、鵜戸神社（明治七年から「鵜戸神宮」）の管理責任は宮司に委ねられて、小職は第十二代となります。

最

後の別当観空の事蹟について、高野山真言宗「春

日山談義所願成就寺」（日南市今町）の墓石の碑文と、凶師幸憲氏の『飢肥藩先人伝』から紹介しておきます。

観空は文化十一年（一八一四）飢肥藩土湯地貞周の第四子に生れました。十三才で出家して願成就寺の真道大師に従つて学び、十八才の時から京都東山の真言宗智山派総本山である知積院に入りました。京都の一小寺の任職であつた頃には、抜刀して押し入つた強盗に対し、毅然として説教し、遂に畏服して

退散させたといふ逸話も残されてゐます。観空は生来寡欲で慈悲の心が強かつたさうですが、一たび衆徒を教導するにあつては極めて厳正であつたといひます。修行すること十余年に及び、大成して帰郷し、願成就寺の第二十五世住職を継ぎました。そして、凡そ三十余年ひたすら仏道の修行に励み、慶応三年（一八六七）四月十五日からは、鵜戸山別当（五十九世）を兼務したのです。

と

ころが世の中は「明治の夜明け」をまさに迎へんとする激動期でした。徳川幕藩体制から天皇を中心とする中央集権国家へと大転換を図る時代でした。

就任早々の慶応三年十二月九日には王政復古の大号令が発せられ、「諸事神武創業ノ精神ニ基ツク」国づくりが始まりました。慶応四年四月四日（同年九

月八日の「明治」改元により後に「明治元年四月四日」となる）には、

今般諸国大小之神社ニオイテ神仏混淆之儀ハ御廃止ニ相成候ニ付、別当社僧ノ輩ハ、還俗之上、神主社人等之称号ニ相転、神道ヲ以勤仕可致候、若亦無抛差支有之、且ハ仏教信仰ニテ還俗之儀不徳心之輩ハ、神動相止、立退可申候事、云々

といふ太政官布達が発せられたのです。

要約すると、神仏混淆（神仏習合）が廃止となることから、別当社僧は還俗（僧籍を離れて俗人にかへる）し、「神道ヲ以勤仕」して下さい。差し障りのある者は立ち退かせて下さい、といふものでした。

こ

ここで、観空の心情に思ひを巡らせてみるのも大切なことであろう。

神仏分離を円滑に取り進める責任者であり、その傍らで自らの還俗の判断も迫られてゐるのである。還俗して鶴戸神社に奉職するといふ道もあつたのかも知れませんが、彼の寡欲の性格はそれを許しませんでした。そして何よりも、余命への不安が頭によぎつたのではないでせうか。

せめて鶴戸山大権現の歴史の一端を後世にのこしておかねばならないとの、最後の別当としての務めを自覚しました。分離に伴ふ廃仏毀釈といふ事態も考慮せねばなりません。また、次世代への伝承のことも頭をよぎつたと思はれます。そこで観空は弟子(第子)の観暁に一つの大事な仕事を託しました。それは第四十七世别当隆岳法印の撰文、「鶴戸山玄深記」と「神道舊時鏡」などの古文書の書写の助勢です。

師の胸中を察した観暁は、誤り

のないやうに一字一句丁寧に書写しました。全て終へるには数ヶ月は要したことであろう。書写を終へると、表紙に「慶応三丁卯年九月」としたため、更に、

五十九世别当観空

第子観暁書寫之

と墨痕鮮やかに書きとどめたのでした。

鶉

戸山を去つた観空は、願成就寺に戻り奉仕します。が、体調が思はしくなく、明治三年五月二日を以て観宥かんゆうにその職を譲つてゐます。そして明治四年三月四日(平部崎南「六鄰莊日誌」、但し墓石には三月七日とある)、五十八歳で病歿します。

僧として、鶴戸山大権現の本格的な廃仏毀釈の様子を目の当たりにすることなく逝つたことは、観空にとつてはせめてもの救ひであつたのかも知れません。

明治四年十二月、鶴戸山本地堂の六観音像は廃仏となつて、各々のこされた寺院や個人宅に移されました。また同五年には、

山門や十二坊は全て毀却されました。

そして明治五年には願成就寺も廃寺となつたのです。



「観空法印」 作画：鶴戸神宮権禰宜 淵田賢二

別当宮司先賢慰霊祭

五月十一日、午前十一時より、鶴戸山別当墓地で別当宮司先賢慰霊祭を齋行しました。

コロナ禍ではありましたが、県内在住の歴代別当宮司遺族をはじめ、氏子総代にも参列いただき、厳粛に執り行いました。

この別当墓地には第一世別当光喜坊快久から第五十九世観空法印までの御霊が祀られており、第六代後藤幸平宮司の代(昭和二十三年(二十九年)から神仏習合の慰霊祭として齋行してきました。当宮のなかでも特殊な祭事となっており、神道の祭典の中で、僧侶が法要を行います。宮司祝詞奏上後、願成寺川崎光俊氏、王楽寺甲斐まり恵氏、萬福寺永井義寛氏より法要が営まれました。



抜穂祭

令和三年八月三日、抜穂祭を齋行しました。

祭典には、責任役員、氏子総代、地区氏子の方々にも参列いただきました。

三月二十三日に御田植祭を齋行し、抜穂祭まで毎月十五日を御神田月次祭と定め、稲の成長を祈願してきました。御田植祭で植えた苗は五カ月の月日を経て、頭を垂れるほどたわわに稔り、黄金色に輝いていました。

抜穂の儀では齋主が稲穂を抜き取り御神前に捧げました。抜き取られた稲穂は、伊勢の神宮で十月十七日に齋行された「神嘗祭」に縣税として奉納し、また当宮の祭典にもお供えしました。

祭典終了後には、JAはまゆう女性職員の刈女と鶴戸小中学校児童、氏子の皆様にも参加いただき、稲刈りを行いました。児童は慣れないながらも氏子に鎌の使い方方を教わりながら、一束一束苗慎重に刈り取り、二畝を収穫しました。二畝からは、もち米約六十キロ、こしひかり約六十キロの収穫となりました。

コロナ禍ではありましたが、感染症対策をしっかりとしたうえで、地区の氏子にも参列を賜り、賑やかに祭典を執り行えることのありがたみを感じた次第です。



明治祭・秋の縁日大祭・ 誕生感謝奉告祭

十一月三日午前十時三十分より明治祭・秋縁日大祭・誕生感謝奉告祭を齋行しました。

明治祭は、近代日本の礎をお築きになられた明治天皇の御偉業と御誕生の日をお祝いする祭典です。

例年は県内企業の方々や崇敬者の皆様に御参列いただいておりますが、コロナ禍ということもあり、地区責任役員、氏子総代、氏子、敬神婦人会のみの参列となりました。祭典では、宮司祝詞奏上後に、舞楽「蘭陵王」を奏舞しました。

また、午後二時より、妻万神社獅子舞神楽保存会・天翔より神楽「柴」・「オステ」と獅子舞の奉納演舞が行われました。



妻万神社獅子舞神楽「柴」



妻万神社獅子舞神楽「オステ」

獅子舞は本殿広場や社務所前でも舞われ、舞終了後には、参拝者の頭を噛み、厄をお祓いしました。この頭を噛む意味合いとしては、「人の頭を噛むことで、その人についた邪気を食べる」という言い伝えがあります。

新嘗祭

令和三年十一月二十三日午前十時三十分より
新嘗祭を斎行しました。

新嘗祭は、古来より農耕を主に生活を営んできた日本人にとっても大切な祭典です。天照大御神から瓊々杵命に伝えられた稲作が長きに渡り現代まで伝えられてきました。この祭典では、その年に収穫された新米や作物などを大神様に捧げ、その御恵に感謝します。

祭典当日は、晴天に恵まれ、県内でのコロナ感染者は、いまでもありませんでしたが、参列は責任役員、崇敬者総代、議会関係者、農業関係、県内の企業関係代表のみとしました。また、昨年引き続き、鶴戸小中学校児童による、子供神楽はコロナ禍でしたので行いませんでした。



当宮の新嘗祭では、県内の醸造会社や菓子店、農業関係などから、焼酎や醤油、焼き菓子、野菜、新米など多くの奉納品をいただきました。それらを拝殿前に奉獻し、社殿がより一層彩りました。

ここに奉納各社団体のご芳名を記し御礼に替えさせていただきます。

奉納各社

〔醸造会社〕

- 京屋酒造
- 霧島酒造
- 寿海酒造
- 神楽酒造
- 井上酒造
- 古澤醸造
- 小玉醸造
- 櫻乃峰酒造
- 櫻の郷酒造
- 松の露酒造
- フンドーキン醤油
- 竹井醸造
- 谷口醸造
- 松尾味噌醤油店

〔菓子店〕

- ゴローズ日南店
- 杵屋菓子店
- 松家
- 竹井菓子店
- とおる屋菓子店
- 安藤明月堂
- サンキュー堂
- 金城堂本店
- とらや菓子店

〔新米・野菜〕

- 平山営農支部
- 甲東営農支部
- 乙東営農支部
- 殿所営農支部
- 松永営農支部
- 益安営農支部
- 内之田自治会
- 坂元自治会
- 清藤辰夫
- 児玉静雄
- 高橋紘久
- JAはまゆう

兎の像奉納奉告祭

今回、令和三年八月二十六日に、当宮崇敬者の有限会社 インテリアアトリエ 鳥居令子様、株式会社 和恵チビッコハウスひまわり 谷口恵子様より兎の像を各一基ずつ奉納いただきました。宮司をはじめ、奉納者参列のもと、奉納奉告祭を御本殿にて斎行し、宮司より感謝状が授与されました。



縁起物紹介

千支縁起物

千支縁起物は張子・土鈴・お守りがあります。

令和四年の千支は「寅」です。寅は、勇猛果敢な動物として表現され、決断力と才覚という意味が込められています。



千支土鈴(大) 一五〇〇円
千支土鈴(小) 七〇〇円



千支一刀彫 二〇〇〇円

招福千支 七〇〇円

千支の置物、お守りは無くなり次第終了となりますのでお求めの方は、お早めにお受け下さい。



寄添い土鈴全種 一五〇〇円



千支張子 一五〇〇円

今回は当宮の正月期間に授与している「千支縁起物」「破魔矢」「熊手」などを紹介いたします。

新年を迎えるにあたり、家内安全や商売繁盛、厄除招福などを祈願し、破魔矢や熊手を求める方も多いかと思えます。当宮では数多くの縁起物を授与してまいりますので、ぜひご覧になり、お受け下さい。

破魔矢・鎗矢

破魔矢や鎗矢には、厄除の意味が込められています。



破魔矢 一五〇〇円

鎗矢 二〇〇〇円

熊手

熊手は形のとおり、落ち葉などをかき集めることから、「福をかきいれる」など商売繁盛や招福の意味が込められています。

当宮の熊手は小・中・大・特大・超特大とあり、大きさによって装飾も違ってきます。



お守り・お札の郵送について

当神宮では、参拝が難しい方や遠方の方でもお守りを受けられるよう郵送も行っております。ご希望の場合は社務所までご連絡ください。

令和 4 年 厄年年表

厄年は人生の転機にあたり、心身共に苦勞の多い年齢とされています。
年の始めに厄祓を受けられまして、本年も無病息災にてお過ごしくさいますようご案内申し上げます。

女性 厄年				男性 厄年		
1990年/平成4年生 (31歳) さる			厄入	1983年/平成5年生 (30歳) いのしし		
2005年/平成17年生 (18歳) とり	1989年/平成3年生 (32歳) ひつじ	1987年/昭和62年生 (36歳) うさぎ	前厄	1999年/平成11年生 (24歳) うさぎ	1982年/昭和57年生 (41歳) いぬ	1963年/昭和38年生 (60歳) うさぎ
2004年/平成16年生 (19歳) さる	1988年/平成2年生 (33歳) うま	1986年/昭和61年生 (37歳) とら	本厄	1998年/平成10年生 (25歳) とら	1981年/昭和56年生 (42歳) とり	1962年/昭和37年生 (61歳) とら
2003年/平成15年生 (20歳) ひつじ	1987年/平成元年生 (34歳) へび	1985年/昭和60年生 (38歳) うし	後厄	1997年/平成9年生 (26歳) うし	1980年/昭和55年生 (43歳) さる	1961年/昭和36年生 (62歳) うし
1986年/昭和36年生 (35歳) たつ			厄明	1979年/昭和54年生 (44歳) ひつじ		

※()内の年齢は数え年での年齢です
※「厄入」「厄明」の年は、日南市の風習によるものです

ご祈祷のご案内

ご祈祷は「ご祈願」とも
いい、神さまのご守護をい
ただけるように願いを求
める神事です。通常の参拜
は、社殿の御前に置かれて
いる賽銭箱にお賽銭を奉
納して拝礼しますが、ご祈
禱は初宮参りや七五三な
どの人生儀礼、家内安全や
商売繁盛、厄祓などの特別
なお願いごとがある時に

行うもので、ご社殿に昇殿
して参拝いただきます。

安産 海幸祭
初宮 車祓
七五三詣 心願成就
厄祓 病氣平癒
家内安全 報賽祈願
身体健全 学業成就
商売繁盛 事業繁栄
合格祈願 社運隆昌

○受付時間…午前 9 時～午後 4 時まで

○祈 願 料…5000 円から

○ご祈祷は本来、神社にお越しの上
お受け頂くのが本義ではあります。しか
しながら、遠方の為、参拜が難しい方、
また、昨今の新型コロナウイルス感染
症拡大の影響で、当神宮へご参拜が叶
わない方々のお気持ちにお応えするた
め、郵送によるご祈願を承っています。
電話、メール、ホームページからも受付
を行っておりますので、ご希望の方は
当宮社務所にお問い合わせください。

鵜戸神宮社務所

Tel : 0987-29-1001

Mail : udojingu@btvm.ne.jp

HP : <http://www.udojingu.com/>

駐車場陥没状況

当宮は海沿いの断崖に位置するところに鎮座しており、宮崎県の有名観光地としても非常に人気で、年間多くの参拝者が来られます。

しかし、懸崖ゆえに多く自然災害にも見舞われています。

特に岩盤の崩落などによる被害は過去何度も発生しており、平成十年六月九日には、千鳥橋から休憩所間の参道山手側斜面が幅約五十メートル、高さ約五十メートルにわたり崩れ、平成十九年七月十四日には、台風の影響で、楼門脇斜面上部・下部が崩落、石段の亀裂、平成二十七年六月に

は海岸参道が長雨により一部陥没の被害などがありました。

そして近年では、当宮を参拝する際に一番近い第一駐車場が陥没の被害にあっています。

第一駐車場は、令和元年七月に台風の影響で亀裂が生じ、同年十一月に修復作業を行いました。翌年七月六日の記録的な短時間の大雨で約五十メートルにわたって再度陥没や亀裂が生じました。高さ五十センチメートルの程でしたが、昨今の大雨ですらに陥没し、最大二メートル程沈下してしまいました。なお、令和三年九月十六日には、台風十四号接近に伴う大雨の影響を受け、十二月現在では、最大三メートルの陥没と

なっております。

また、九月十六日の大雨で国道二二〇号小内海内海間の斜面が崩落し、九月十六日から十月二十日まで全面通行止めとなっていました。その為、日南市から宮崎市間までの交通が出来ず、宮崎市内、日南市間の行き来は、県道二十八号線（田野から北郷への道）を通らなければなりません。コロナ禍での緊急事態宣言下でもあった為、参拝者が急減し、境内も一時は閑散としていました。

現在も当宮第一駐車場の復旧の目途は立っておりません。工事が終了し、安全に駐車できるようになるまでは、皆様にご迷惑をおかけいたします。



令和元年 11月13日修復後



令和2年 7月6日豪雨被害



令和2年 10月頃



令和3年 9月16日豪雨被害

令和3年 社務日誌抄

毎月1日 月次祭
毎月「卯」の日は縁日祭・誕生感謝奉告

1月1日	歳旦祭	2月17日	祈年祭	7月10日	鵜戸神宮防災の日
1月2日	初日供祭	2月23日	天長祭	7月29日	尼様慰霊祭
1月3日	元始祭	3月4日	御神田清祓祭	8月3日	抜穂祭
1月7日	昭和天皇御陵遙拝式	3月10日	大宮熱田神社 山田宮司正式参拝	8月11日	縁日祭・誕生感謝奉告祭
1月10日	恵比須神社例祭	3月11日	東日本大震災復興祈願祭		新穀感謝祭
1月11日	成人祭	3月20日	春季皇霊祭遙拝式・春分祭	8月26日	兔の像奉納奉告祭
1月13日	宮交ホールディングス 菊地社長他3名参拝	3月23日	御田植祭	9月16日	鳥居令子様・谷口恵子様
1月16日	古神符焼納祭	3月26日	ひなたMIYAZAKI武道 ツリズム協議会多田氏他五名参拝	9月17日	大雨の影響 第一駐車場陥没
1月18日	清水役員より 胴長太鼓奉納	3月27日	春の縁日大祭・誕生感謝奉告祭	9月20日	日本神社ヨガ協会 奉納ヨガ
1月21日	大神神社崇敬者 実穂講 久保文字様他8名参拝	4月3日	神武天皇御陵遙拝式	9月23日	敬老祭
1月27日	若潮船主協会海幸祭祈願	4月5日	大神神社崇敬者 実穂講 久保文字様他4名 正式参拝	10月10日	秋季皇霊祭遙拝式・秋分祭
1月28日	波切神社例祭	4月23日	原田薫氏 ヴァイオリン演奏奉納	10月11日	崇敬者
1月31日	例祭前夜祭	4月29日	昭和祭	10月13日	小池愛子様他三名 正式参拝
1月31日	特別崇敬者 瀧谷直文氏より 御幣台、正殿幌奉納	4月30日	自動車被所鎮座記念祭	10月14日	南那珂支部大麻頒布始祭
2月1日	第48回四半的弓道大会	5月4日	上皇上皇后両陛下御参拝記念祭	10月17日	竈山神社遙拝式
2月2日	吾平山上御陵祭	5月5日	神御衣祭・節句祭	10月17日	皇子神社例祭・地区皇子神社例祭
2月2日	節分祭	5月5日	大神神社崇敬者 実穂講	10月27日	神嘗祭遙拝式・神嘗奉祝祭
2月2日	鹿児島マグロ船主協会 海幸祭	5月11日	久保文字様 燈籠奉納奉告祭	11月3日	福智神社例祭
2月2日	宮崎神宮敬神婦人会	5月28日	別当宮司先賢慰霊祭	11月6日	明治祭・秋の縁日大祭
2月8日	百野裕子会長他3名参拝	5月28日	崇敬者総代	11月7日	誕生感謝奉告祭
2月11日	広島東洋カープ 必勝祈願	5月30日	潮嶽神社	11月15日	平成遷座記念祭
2月11日	紀元祭	6月24日	佐師正朗宮司他1名参拝	11月17日	神御衣祭
2月15日	鵜戸稲荷神社例祭	6月24日	鵜戸神宮敬神婦人会 植栽活動	11月23日	七五三祭
2月16日	播種祭	6月30日	住吉神社例祭・九柱神社例祭 大祓式	11月24日	儀式殿鎮座記念祭

疫病収束祈願 奉納花火協賛者名

皆様方には御協賛を賜り、誠に感謝申し上げます。
ここに厚くお礼申し上げます。

10万以上

氏子総代会

(株)児湯食鳥

(株)谷口重機建設

清藤辰夫

5万以上

合資会社 泉屋

長友 泰(総代)

九州築地 築地加代子

京屋酒造(有)

セキユリティローロード

歌津芳秋(総代)

(株)和恵 谷口恵子

(有)インテリアトリイ

西村みつ子

日野 聡

(有)天水

矢野勝利、典子

宮崎福祉医療カレッジ

はまゆう農協

サンキョウ紙工(株)

鶴戸自治会

小池愛子

日高三友

榎原神社 上村広樹

(有)有蘭水道工業

日南商工会議所

(有)六葉煙火

3万以上

ニホンバイオフーズ製造(株)

和田紀子

青木プロイラー

徳井建設

京都奉製

野村證券(株)

セコム宮崎(株)

(株)谷口商事

川瀬 静(役員)

旭漁業(株)

(株)日南造園

蒼竜社

東和奉産

井筒授与品店

(株)福岡奉製

鶴戸神宮敬神婦人会

社会福祉法人つよし会

(株)ユークカワベ

(有)フロリススト歌津

(株)九電工日南営業所

(株)林田樹苗農園

黒岩昭彦

(株)タカシ巧芸社

1万以上

黒木美津子

倉岡清美(役員)

西山和男

宮崎神宮敬神婦人会

思川建設(株)

(株)KRC

吉田利光(総代)

市川直是

脇井正司

京のさが匠

池田宗利(役員)

山口英樹

三幣 靖

長友 治(役員)

米良電機産業(株)

(有)岡本装束店

アイザワ証券

太平洋建設(株)

杉村物産(株)

(株)阿部

中尾光宏

大和証券(株)宮崎支店

大畑隆磨

(株)一千乃

宮崎味岡生コンクリート(株)第四工場串間

原衛利直

寺原聖山

宮交ショップアンドレストラン

江口板金工業(株)

グリーン産商(株)

(有)朝日日南清掃公社

中島技芸

富岡建設(株)

秋山富美子、博

宮崎第一信用金庫油津支店

吉田産業(株)

藤井裕美子

宮崎銀行油津支店

つるや 宇佐美久虎

上村育俊(総代)

(有)大清

山本忠則

高原ミネラル(株)

渡邊倫章

齊藤佳子

本部雅裕

(株)エクラ

川瀬満政

宮崎太陽銀行油津支店

加藤剣治

木場雄一

吉田孝則、敬子

山下一将

(株)三宝社

源 勝彦

塩塚裕子

(株)神路社

大西正子

日南市消防団鶴戸分団

門丸正憲(総代)

(株)離水

乗原寿美江

鶴戸高齢者クラブ

(株)秋江

萩原千也

(株)おの奉成

百野裕子

長友泰子

(有)ドライブイン大海

古澤醸造合名会社

(株)メモリアル日南

(株)こく

東急建設(株)九州支店

西田秀二

(株)想苑

坂本哲夫

小田晴之

松田貴明

兼武宏四

長野建設(株)

創作ダイニング木のあな

間瀬田隼也

(有)カワゴエ

ユウキ商事(株)

おきよせんべい松家

(株)河北

原 茂男

5千円以上

- 宮日総合広告(株)
- 妻万神社・天翔
- 串間市建設業協会
- 小城製粉(株)
- 中武信明
- 伊藤俊郁
- オフィスナガトモ
- 日南商工会議所青年部
- 山佐木材(株)
- 世紀産業(株)
- シーサイド平川MASALU
- (有)山下運輸
- コロナに枕んな花火実行委員会
- (有)ウタツ保健事務所ポラリス
- 揚野商事(株)
- 大塚 誠
- (有)蒲池電気
- ヒミツキチHIDEKICHI
- (株)二宮鉄工
- (有)海潟ドライ
- (株)祁答院土木
- (株)医療支援システム
- 宮崎賢一
- 岩切文宏(総代)
- 菅原神社 猪股信彦
- 畑野 陵
- 伊藤由美子
- 高城神社 安藤武、弘子
- 直山 陽
- 高橋陽一郎
- 延原秀和
- (有)工藤消防設備
- 徳富知行、りみ
- 小村弘美
- 山村敬伸
- 新生社印刷
- 今井 弘
- 大堂津ドック(株)
- (株)日拓測量設計
- (株)谷口組

- 平野かよ子
- 平岩勝好
- 高橋政雄、ヨリ子
- 酒井聡二郎、ゆりか
- (株)長谷川製作所
- 野田哲郎
- 河野桂子
- 伊知地久美(総代)
- 西原大輔
- ネットトヨタ宮崎日南店
- 山本政行
- 宇野正志
- 西江幸彌
- 坂田 勲
- 田中孝美(総代)
- 中尾充宏
- 能勢 協
- (株)湊
- 大浦地区
- 松本 学
- 宮崎トヨタ自動車
- 阿原理加
- 小吹毛井自治会
- 平方速夫
- 中山明美
- 山下球恵
- 穴見晃子
- 河野幸恵
- (有)精霊社
- 川嶋健市
- 日南ライムホール
- 持原純市
- 外山文江
- 柚本真由貴
- 三宅有貴子
- (有)若葉
- (株)橋口組
- 蛭原清仁
- 善飲酒豪
- 川越宗嗣
- 川越優子
- 川越貴之

コロナウイルス感染症に伴う対策



1 参拝時はマスク着用の上でお参りください



3 手水舎の柄杓を撤去し竹筒の手水舎を設置しています



2 各授与所に消毒液を設置しています



4 境内手すり等の除菌作業をしています

- 川越里紗
- 川越丈嗣
- 川越啓嗣
- 川越裕介
- 川越綾菜
- 川越妃水衣
- (株)リバーセン
- 郡司定雄
- 白木理恵子
- 魚匠 和さび
- 片桐美香
- 障害者支援施設光の里
- 春日鉦山(株)
- (株)松野下浦鉦
- 福田葬儀社
- 令和三年十二月十日現在
- なお、十日以降の協賛者につきましては次号に掲載いたします。
- 宮内機械(有)
- (有)三味堂商事
- (株)マルマサ
- (有)尾崎建設
- 堀之内酒店
- だし吉
- 眞邊伸也
- エンマン醬油
- HairSalonOkamoto
- まっげサロンRepos
- 5千円以下
- 大浦地区高齢者クラブ
- 日比野美代子



修学旅行



昭和五十年、小学六年生の小職は修学旅行で鵜戸神宮に参拝しました。

観光駐車場から八丁坂を下りながら、目の前に広がる大海原に感動を覚えました。青い空と太平洋を臨む社殿の壮大な景色は、とても印象的でした。当時は観光客も多く、土産物屋も立ち並んでをり大層な賑はひでした。お参りに後には運玉を投げたのですが、亀石の背中の窪みには一つも入りませんでした。定番の「お乳飴」をお土産に買い求め、楽しい思い出の一つとなりました。時は過ぎゆき四十年余、神様のお導きをいただき宮司に就任いたしました。が、以前は当たり前であった鵜戸山詣での修学旅行は殆ど見ることもなくな

り、寂しさを感じてゐました。

ところが、思ひもしない新たな現象が見られるやうになりました。

それは、減少傾向にあった小中高生の修学旅行者数が格段に増えてゐることです。令和二、三年だけでも一〇六校を数へてゐます。生徒たちは説明を受けた後には揃つてお参りしてゐます。洞窟内を一周した後は、お守りを受け、おみくじを引く生徒さんもゐます。そして運玉に興じるのです。窪みに運玉が入らうものならその歓声が洞窟内にまで響き、境内に活気がみなぎります。それは小職が四十年前に体験したものと何ら変はらない情景です。コロナ禍にあつても得る

ものがあることを、子どもたちの元気な姿から学んだのでした。

さて、その修学旅行が増えてゐる背景にコロナウイルスの蔓延があることは明白です。当初は中止が相次ぎましたが、様々な検討を重ねた結果、万全の予防対策をとつたうへでの県内実施なら、との判断が下されてゐるやうです。よつて、この修学旅行の増加現象は一過性のものなのかも知れませんが、歴史は必ず繰り返されていきます。御神威とこの素晴らしい景観を保ち続けていけば、何れまた日常的な風景となるに違ひありません。子どもたちにも愛される鵜戸神宮でありたいものです。

(宮司・黒岩昭彦)

